

息子よ

息子よ、そのままでいい。
それで、うちの子。
それが、うちの子。
あなたが生まれてきてくれてよかった。

弟よ、
お前は人にいじめられるかもしれないが、
人さしいめる人にはならないだろう。

生まれた時から
障がいのある兄ちゃんがいた。
お前の人格は
この兄ちゃんがいた環境で形作られたのだ。

お前は優しい
いい男に育つだろう。

昨年七月、日本中に衝撃が走った相模原障がい者殺傷事件。
事件後、障がいの息子を持つ父親が綴った詩の一部だ。

逮捕された若者への怒りではなく
自らが息子を受容し、慈しむ姿が胸をうつ。

私たちは気づかなければいけない。

障がい者と健常者はなだらかにつながっているのだ。

事故にしろ、病気にしろ、
どんな人でも人生の最後は動けなくなるのだ。

生まきているだけで精いっぱいの人がいなくてもいい。
精いっぱい、本気で生きている者はそのままで
十分に美しいと皆が共有できる社会でありたい。

福ニキ
校長室
だより

ほたる草

平成二十九年三月三日(金)

NO.133

タフでなかったら、
生きていられない。
やみくも
なれなかったら、
生まれている資格がない。

チヤンドラー

